

箴言 6 第 15 章「癒しをもたらす舌」

2018/05/23 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

同様の言葉が 15 章にもある。

「15:16 財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは、乏しくても主を畏れる方がよい。」

「15:33 主を畏れることは諭しと知恵。名誉に先立つのは謙遜。」

2. 弱者へのまなざし

「15:25 主は傲慢な者の家を根こそぎにし、やもめの地境を固めてくださる。」

15 章の前後の言葉も大切にしたい。

「14:31 弱者を虐げる者は造り主を嘲る。造り主を尊ぶ人は乏しい人を憐れむ。」

「16:8 稼ぎが多くても正義に反するよりは、僅かなもので恵みの業をする方が幸い。」

- ・このような関心が「箴言」にもあることに注目したい。人と人との間に、また社会に、正義と公正が行われることが、神の願いであり、聖書の関心である。

3. 15 章に繰り返されるテーマ（のひとつ）は「舌」「口」「言葉」

「1 柔らかな応答は憤りを静め／傷つける言葉は怒りをあおる。

2 知恵ある人の舌は知識を明らかに示し／愚か者の口は無知を注ぎ出す。

3 どこにも主の目は注がれ／善人をも悪人をも見ておられる。

4 癒しをもたらす舌は命の木。よこしまな舌は氣力を砕く。」

- ・癒しをもたらす声をわたしたちは神から、イエスから聞く。

「わたしはあなたをいやす主である。」出エジプト記 15:26

「わたしは唇の実りを創造し、与えよう。平和、平和、遠くにいる者にも近くにいる者にも。

わたしは彼をいやす、と主は言われる。」イザヤ書 57:19

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。[わたしがあなたがたを＝ギリシア語原文にあり] 休ませてあげよう。」マタイ 11:28

- ・お互いの間でもそうでありたい。

- ・ひとつの例——ボアズとルツの対話から（ルツ記）

「2:12 どうか、主があなたの行いに豊かに報いてくださるように。イスラエルの神、主がその御翼^{みつばさ}のもとに逃れて来たあなたに十分に報いてくださるように。」

「2:13 わたしの主よ。……心に触れる言葉をかけていただいて、本当に慰められました。」

4. 祈りへの促し

「15:8 主は逆らう者のいけにえをいとい／正しい人の祈りを喜び迎えられる。」

「15:29 主は逆らう者に遠くいますが／従う者の祈りを聞いてくださる。」

5. 印象的な言葉

「15:13 心に喜びを抱けば顔は明るくなり／心に痛みがあれば霊は沈みこむ。」

「15:17 肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。」

「15:18 激しやすい人はいさかいを引き起こし／忍耐深い人は争いを鎮める。」

……